

2020年8月6日

博報堂グループ・D2C 統合ソリューションチーム、生活者発想で D2C ブランド開発を支援するプログラム「D2C Design Studio」を提供開始

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）が発足した D2C（Direct to Consumer）ブランドビジネスを支援する「博報堂グループ・D2C 統合ソリューションチーム」は、生活者発想で D2C ブランド開発を支援するプログラム「D2C Design Studio」の提供を開始いたします。

自社で企画・製造した商品を EC を活用して生活者に直接販売するビジネスモデル「D2C」への企業の注目が高まっています。SNS を活用したコミュニケーションを通じて顧客との関係を構築しファンを育成していく D2C ブランドは、強いブランドストーリーとエモーショナルな価値の訴求が重要であり、一般的なブランディングとは異なるブランド構築やサービス設計が求められます。

博報堂において、企業のブランディングやイノベーション支援を行う専門組織「博報堂ブランド・イノベーションデザイン」は、これまで 10 年以上にわたり最先端のナレッジやメソッドを駆使したブランドづくりを支援してきました。さらに同組織において生活者のデジタル体験やサービスをデザインするプロジェクト「HUX (HAKUHODO UX & Service Design)」の活動を通じて、サービスデザイン領域における知見も深めてまいりました。「博報堂グループ・D2C 統合ソリューションチーム」においては、ブランド設計の中心的役割を担っています。

今回、「博報堂ブランド・イノベーションデザイン」のブランディングやサービスデザインに関する知見をもとに、生活者の心を惹きつける D2C ブランド開発を支援するプログラム「D2C Design Studio」を開発いたしました。

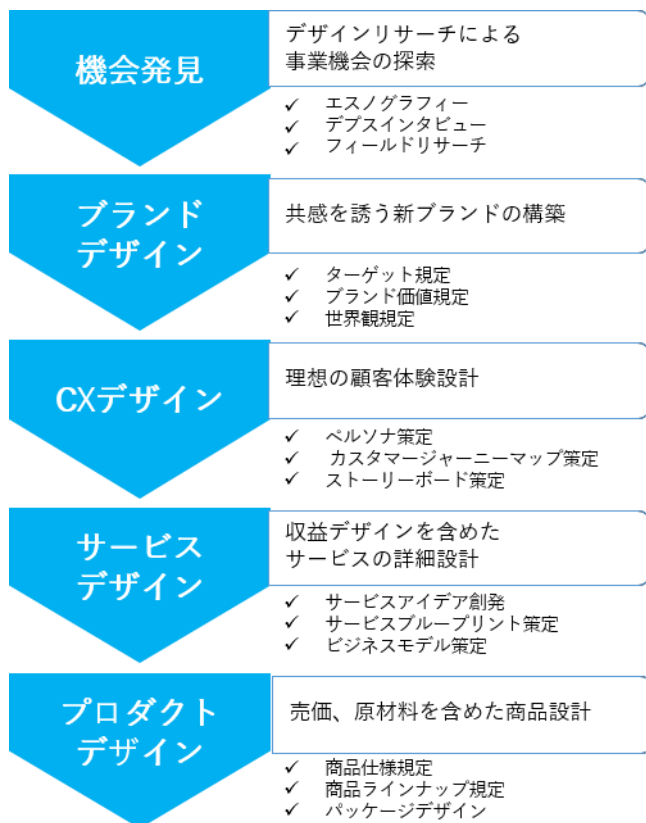
「D2C Design Studio」では、D2C ブランドを構成するブランド・エクスペリエンス・コミュニティの 3 つの要素に着目し、「生活者の共感を誘う“らしさ”を設計するブランド開発」「生活者発想に基づいた顧客体験を設計するエクスペリエンス開発」そして「ブランドとの絆を紡ぐ共創アプローチを通じたコミュニティ開発」をワンストップで提供します。各領域の専門家やクリエイターと連携して、デジタルとリアルの体験を高次元で融合した D2C ブランドの開発を実現します。

また本プログラムは、生活者の声や関係者の要件を素早く反映しながら開発を進めるアジャイルプロセスやプロトタイピングに力点を置き、ブランドのあるべき姿をビジュアル化して、そこからの逆算でイノベティブなブランドをデザインしていく「サービスエビデンス」という手法を取り入れていることが特徴です。商品が世の中に出た時の姿を先行してビジュアルで共有することで、未来の顧客となる生活者や社内関係者からの意見を収集しやすくなり、生活者にとって本当に価値のある D2C ブランドの開発をスピーディーに実現することが可能になります。

博報堂は今後も、D2C ブランドビジネスの支援を通じて、企業の成長を加速する事業トランスフォーメーションに貢献してまいります。

【参考資料】

■ 「D2C Design Studio」のワークプロセス



本プログラムは、モノからコトに価値の重心が移る中でのサービス中心の考え方「サービス・ドミナント・ロジック」*に基づいて設計されています。

*サービス・ドミナント・ロジック

世の中で行われる経済活動をすべてサービスとしてとらえ、企業と顧客が一緒になって価値を創造する「価値共創」の視点に立った考え方。

2004年に Stephen L. Vargo と Robert F. Lusch が提唱。

ブランド開発後の実装フェーズや獲得フェーズにつきましても、「博報堂グループ・D2C 統合ソリューションチーム」に所属する各領域の専門組織・メンバーと連携し、支援いたします。

■サービスエビデンス (Service Evidencing)

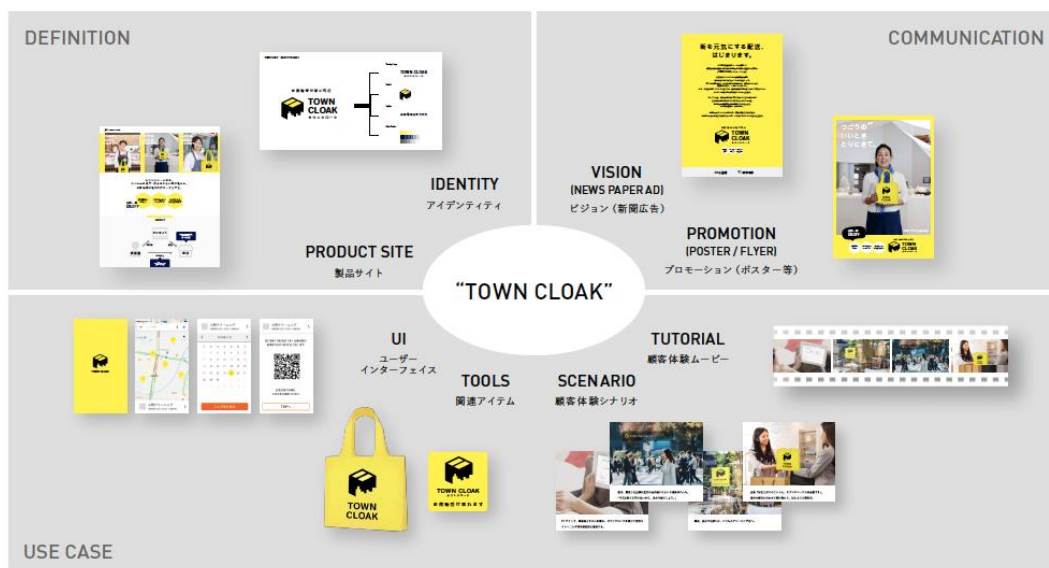
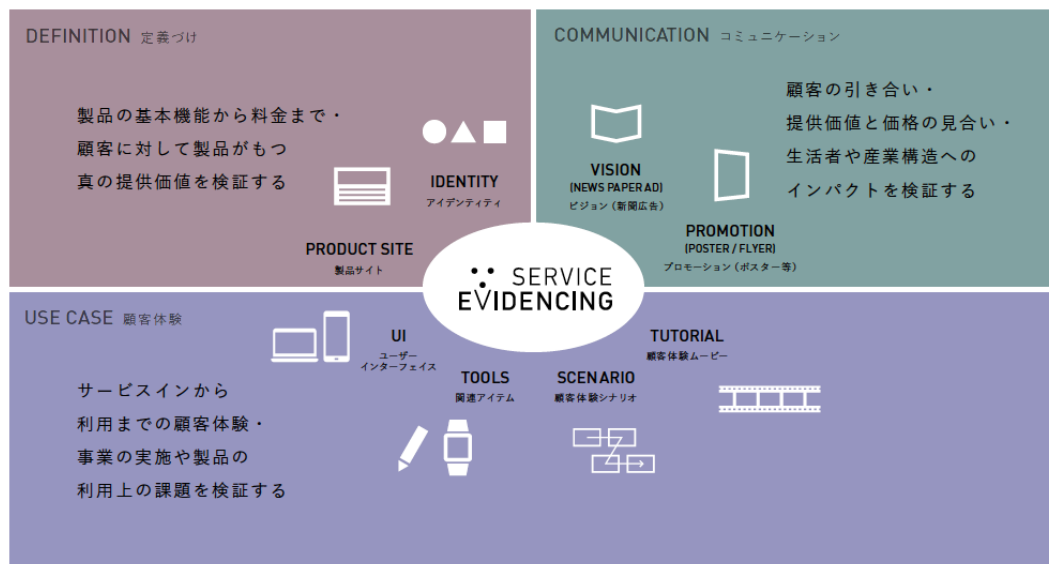
ブランドのあるべき姿をビジュアルで提示し、そこからの逆算でイノベティブなブランドをデザインしていくプログラム。未来のあるべき姿をビジュアル化することで、未来のお客様からフィードバックを得やすくなり、生活者にとって本当に価値のあるブランド・サービスを実現することが可能になります。

●● SERVICE EVIDENCING

サービス・エビデンス

Evidencing (エビデンス) = 立証する、明らかにする、示す

事業やサービスのあるべき姿 (To-Be) をビジュアルで提示し、そこからの逆算で、イノベティブな事業・サービスをデザインする



■博報堂グループ・D2C 統合ソリューションチーム

2020年6月発足。博報堂グループ横断で、企業のD2Cブランドビジネスを包括的に支援するチーム。D2Cブランドビジネスに必要なあらゆる機能をワンストップで提供し、D2Cブランドを新たに開発したい企業にも、すでにローンチしたD2Cブランドのさらなる成長を目指す企業にもご活用いただける、幅広いプログラムをご用意しています。

リリース URL : <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/81996/>

■博報堂ブランド・イノベーションデザイン



博報堂内の次世代型コンサルティング専門チーム。マーケッター、デザイナー、コピーライター、一級建築士、組織開発コンサルタント、リサーチャーなど、多彩なバックグラウンドを持ったメンバーより構成され、戦略からアウトプットまでをワンストップで実行するのが特徴です。ブランド戦略立案をはじめ、組織・風土改革、ビジョン策定、新事業開発、商品・サービス開発、CI・VI、ネーミング、空間デザインといった様々なビジネス領域をカバーし、クライアントや外部専門家と深くコラボレーションする「共創型」のプロジェクトを得意としています。

URL: <http://h-bid.jp>

■HUX (HAKUHODO UX & Service Design)

HUX

HAKUHODO UX & SERVICE DESIGN

生活者発想に基づき企業の事業戦略を UX（ユーザーエクスペリエンス）視点でリードし、デジタル体験やサービスをデザインする 2016 年に発足した領域横断型プロジェクトです。

URL: <http://hux.jp/>

【サービス内容に関するご相談・お問い合わせ】 hakuhodo_d2c@hakuhodo.co.jp

【報道関係のお問い合わせ】 株式会社博報堂 広報室 玉・山野 koho.mail@hakuhodo.co.jp 03-6441-6161